

『第25回リサイクル作品コンクール』審査結果について

白河地方広域市町村圏整備組合（管理者 鈴木和夫 白河市長）は、家庭の廃棄物を利用して作製したリサイクル作品の審査会を令和3年10月8日（金）午後1時30分より、西白河地方リサイクルプラザで開催しました。

これは、限りある資源を大切にす意識の高揚を図ることを目的として、組合管内28小学校の4年生を対象に、夏休み期間中を利用し、リサイクル作品の作製を依頼して行うコンクール事業で、本年度は、27校481作品の応募があり、各校で事前審査を経た77作品を対象に、事務局職員及び衛生施設関係者（計5人）によって審査会が行われました。

審査の結果、いずれもアイデアいっぱいの力作揃いの中から、ペットボトル、空き箱、トイレットペーパーの芯、使い捨て容器を利用して作製した 矢吹町立矢吹小学校 長沼 優芽（ながぬま ゆめ）さんの「オリンピック地球儀」が最優秀賞に選ばれました。

この作品は、2つの使い捨て容器を組み合わせた球体にカラフルな地球を描き、空き箱を台座にして回転させて見ることのできる地球儀となっています。今年開催された東京オリンピックをイメージしたデザインやペットボトルキャップに国旗を描いて立体感を演出するなど、様々な工夫とリサイクルを意識した作品となっています。

本コンクールは、今年で25回目となり、年々リサイクルを意識した作品が増えており、子供達の豊かな発想にあふれた作品が多く見られました。

《 審 査 風 景 》

